

たす て ふさわしい助け手

そうせいき
創世記2：18～25



1. 正しい方を○で囲んでね。

「人が、(遊ん ・ ひとり) ているのは (あぶ ・ 良く) ない。
わたしは彼のために、ふさわしい (猫の ・ 助け) 手を造ろう。」

2. 神さまは、男の人の助け手を見つけるために、すべての動物に名前をつけさせました。それはどうしてですか？

名前をつけた動物の中に、ふさわしい助け手はいましたか？

3. 聖書に書いてあるとおりに、() の中にことばを入れてね。

そこで () である主が、深い () をその人に下されたので、彼は () 。それで、彼の () の一つを取り、そのところの () をふさがれた。こうして神である主は、人から取った () を、ひとりの () に造り上げ、その () を人のところに連れて来られた。

4. 正しいものに○をしてね (いくつでも)。

- () 男の方が先に造られたので、男の人はいつもいばって良い
- () 神さまの目には男も女も同じように大切だけど、それぞれちがう役割がある
- () 人間は自分勝手に生きるよりも、神さまに造られた役割のとおり生きる方が幸せになれる
- () 結婚のしくみは、神さまが造った